



# ソフトピアジャパン IoT・IT 研修

2019  
2月-3月

2月～3月開催 IoT・IT 研修のお申し込みを受けています。  
新分野・新技術の専門的な IoT・IT 技術習得や生産性の向上、  
人材のスキルアップ、ビジネススキル等、現場に直結する  
実践的な研修を実施しています。  
岐阜県内企業・団体向けの IoT・IT 実践編の研修も募集中です。

研修名		開催日	締切日	受講料(円)
IoT	実践で学ぶIoT入門 ～導入に必要な知識を習得する～	3/ 7(木)～ 8(金)	2/19(火)	22,000
	中小企業のための失敗しないRPA(業務自動化方法)導入	3/20(水)	3/ 4(月)	11,000
AI	クラウドを利用した機械学習 ～AWSを使った画像認識～	2/14(木)	2/ 4(月)	20,000
	Python 基礎編	3/ 1(金)	2/13(水)	15,000
	Dialogflowによるチャットボット・ハンズオン ～ビジネス活用入門～	3/12(火)	2/22(金)	16,000
データ分析	生産性向上、効率化のためのデータ分析 ～製造業向けのデータアナリスト養成～	2/21(木)	2/ 4(月)	9,000
CAD	SOLIDWORKS 応用	2/25(月)～26(火)	2/ 6(水)	61,000
	Fusion360デジタルものづくり中級編 ～ものづくりマスターを目指して～	3/27(水)	3/ 8(金)	13,000
システム開発	Linuxシステム管理	2/ 7(木)～ 8(金)	1/29(火)	24,000
	フレームワークを利用したPHP開発 ～Laravel～	3/14(木)～15(金)	2/26(火)	26,000

※受講料は、消費税(8%)を含みます。

研修  
メルマガ  
配信申込

研修メルマガでは、最新の講座情報や財団主催のセミナー・イベントなどの情報を発信しています。  
メール配信をご希望の方は、右のQRコードを読み取り、『氏名・会社名・電話番号』を入力してメールにてお申し込みください。



※ 毎月 第2火曜日配信

ソフトピアジャパン  
Facebook



\* 企業や団体向けの IoT・IT 実践研修も受け付けております。詳しくは 7～9 ページをご覧ください。

お問合わせ  
お申し込み

<https://training.softopia.or.jp/>

公益財団法人ソフトピアジャパン

TEL 0584-77-1166 (受付時間: 9:00～17:00 土・日・祝祭日を除く)  
FAX 0584-77-1105 E-Mail training@softopia.or.jp



実践で学ぶIoT入門 ～導入に必要な知識を習得する～			IoT		
学習目標	IoTの基本的な知識や活用事例を学ぶことができます。 Raspberry Pi等を使用して体験型でIoT的な感覚を得ることができます。 IoTを用いた業務改善や新たなビジネスの具体的に検討するきっかけづくりができます。				
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>IoT 概論的なお話 <ul style="list-style-type: none"> <li>世界・日本の動きを知る（第4次産業革命等）</li> <li>業務用・産業用IoTとは</li> </ul> </li> <li>IoT 事例 <ul style="list-style-type: none"> <li>ユースケースからの学び</li> <li>中堅・中小企業で活用するためには</li> </ul> </li> <li>IoTの仕組み <ul style="list-style-type: none"> <li>動くIoTデバイスを見てみよう</li> <li>IoT構成要素の解説（基礎）</li> </ul> </li> <li>演習① <ul style="list-style-type: none"> <li>Raspberry Piを使用してLEDを制御する</li> </ul> </li> <li>IoT構成要素の解説（詳細） <ul style="list-style-type: none"> <li>センサ・アクチュエータ</li> <li>ネットワーク</li> </ul> </li> <li>演習② <ul style="list-style-type: none"> <li>Raspberry Piを使用して各種センサ・アクチュエータを制御する</li> </ul> </li> <li>IoTの導入・活用方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>問題点の発見方法や仮説の立て方などの着眼点を学ぶ</li> <li>具体的事例の解説</li> </ul> </li> <li>演習③ <ul style="list-style-type: none"> <li>IoT導入を実際に考えてみるワークショップ</li> </ul> </li> </ol>				
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミングやITなどの知識・経験がなくてもIoTに興味のある方であれば受講可能です。</li> <li>IoT導入のための基礎知識を得たいと思っている方</li> <li>具体的な困りごとがあり改善方法を模索している方</li> </ul>				
開催日時	平成31年 3月 7日(木)～ 8日(金)		午前10時～午後5時		
使用ソフト	—	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア		
申込締切	平成31年 2月 19日(火)	募集人数	10名	受講料	22,000円
特記事項	研修で使用したIoT機器を自社に持ち帰ってご活用頂けます。				

中小企業のための失敗しないRPA（業務自動化方法）導入			IoT		
学習目標	RPA（Robotic Process Automation）の基本知識を学習します。 RPAを活用して業務の自動化を成功させる方法を習得します。 小売業における業務への適用事例を取り上げます。				
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>RPAの概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>RPAが求められる理由</li> <li>RPAツールの基礎知識</li> <li>オープンソースRPAソフト「SikuliX」を使った実例（デモ）</li> <li>2年間運用してわかった！RPAの落とし穴</li> </ol> </li> <li>RPAによる業務自動化方法の概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>自社の課題を解決するにあたって 課題の選定と実現方法の考え方</li> <li>業務を自動化するDAF理論</li> <li>自動化推進組織・体制</li> <li>自動化運用知識・体制</li> </ol> </li> <li>小売チェーン企業の事例紹介 <ol style="list-style-type: none"> <li>営業日報作成配信業務の自動化</li> <li>定番商品補充表作成の自動化</li> <li>システム間連携業務の自動化</li> </ol> </li> </ol>				
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>RPAの導入を検討されている方／導入済みだが活用できていない方</li> <li>情報システムについて基本的な知識をお持ちの方</li> </ul>				
開催日時	平成31年 3月 20日(水)		午前9時30分～午後5時30分		
使用ソフト	SikuliX（オープンソース）	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア		
申込締切	平成31年 3月 4日(月)	募集人数	10名	受講料	11,000円

クラウドを利用した機械学習 ～ AWS を使った画像認識～			AI	
学習目標	ディープラーニングの基礎を習得します。 AWS 利用した画像認識のプログラミング方法を学習します。			
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>ローカルでのディープラーニング               <ol style="list-style-type: none"> <li>機械学習とは</li> <li>教師あり機械学習</li> <li>パーセプトロン</li> <li>ディープラーニング</li> <li>ニューラルネットワーク</li> <li>CNN</li> <li>既存モデルの利用による画像認識 (ImageNet)</li> <li>アセンブリの変更・活用等</li> </ol> </li> <li>AWS を使った画像認識               <ol style="list-style-type: none"> <li>AWS の基本的な利用</li> <li>AWS Rekognition 画像認識</li> <li>AWS SDK                   <ul style="list-style-type: none"> <li>S3 への画像アップロード</li> <li>Rekognition 画像認識</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>演習 任意の画像をアップロードし画像認識させるツール作成</li> </ol>			
前提知識	・ Python プログラミングの基礎知識をお持ちの方			
開催日時	平成 31 年 2 月 14 日 (木)	午前 10 時 ～ 午後 5 時		
使用ソフト	Jupyter-notebook	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア	
申込締切	平成 31 年 2 月 4 日 (月)	募集人数	10 名	受講料 20,000 円

Python 基礎編			AI	
学習目標	Python の環境設定から基本文法、特徴と仕組みを学習します Python の使い方を学び、簡単なコーディングができるようになります			
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>Python の概要               <ul style="list-style-type: none"> <li>Python とは</li> <li>Python の特徴</li> <li>Python のインストール</li> </ul> </li> <li>データ型               <ul style="list-style-type: none"> <li>日付 / 時間</li> <li>リスト</li> <li>辞書型</li> </ul> </li> <li>基本文法</li> <li>ファイル操作</li> <li>文字列</li> <li>関数</li> <li>モジュール化</li> <li>正規表現</li> </ol>			
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows の基本的な操作ができること</li> <li>プログラミングに関する基礎的な知識</li> <li>これから Python を学ぼうとしている方</li> </ul>			
開催日時	平成 31 年 3 月 1 日 (金)	午前 9 時 30 分 ～ 午後 5 時 30 分		
使用ソフト	Python3	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア	
申込締切	平成 31 年 2 月 13 日 (水)	募集人数	10 名	受講料 15,000 円

Dialogflow によるチャットボット・ハンズオン ～ビジネス活用入門～			AI	
学習目標	Google のサービスである Dialogflow を活用し、実際にシナリオを書いて動かす方法を学習頂きます。対話型のチャットボットの仕組みを学習頂きます。			
学習内容	1. チャットボット概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>国内導入事例</li> <li>Alexa (アレクサ) への実装デモ</li> </ul> 2. メッセージング API <ul style="list-style-type: none"> <li>facebook</li> <li>Line</li> <li>演習</li> </ul> 3. Dialogflow <ul style="list-style-type: none"> <li>対話エンジンの設定</li> <li>Intent の作成</li> <li>Facebook との連携</li> <li>LINE との連携</li> </ul> 4. 活用方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッション形式で発表</li> </ul> 5. ロードマップ紹介			
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google アカウント /LINE アカウント /Facebook カウントをお持ちの方で、Dialogflow と LINE Developers アカウントを登録出来る方</li> <li>プログラム作成に必要な IT スキル (API コール、JSON) があること</li> </ul>			
開催日時	平成 31 年 3 月 12 日 (火)	午前 10 時 ～ 午後 5 時		
使用ソフト	Google Dialogflow	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア	
申込締切	平成 31 年 2 月 22 日 (金)	募集人数	10 名	受講料 16,000 円
特記事項	Windows/Mac ノート PC をお持ちいただける方は持参ください。			

## データ分析

生産性向上、効率化のためのデータ分析 ～製造業向けデータアナリスト養成～			データ分析	
学習目標	作業工程、原価、在庫などのデータを分析することで、感と経験ではなく客観的情報に基づいた生産性向上の手法について学習します。エクセルを用いた演習により、実践的なデータ分析能力も習得します。			
学習内容	1. 業務のボトルネック工程の発見と改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 業務プロセスの図解化               <ul style="list-style-type: none"> <li>DMM (Diamond Mandara Matrix) による作業の階層化</li> <li>作業工程全体を見える化</li> </ul> </li> <li>(2) 業務量調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>作業時間測定のための調査票の設計</li> </ul> </li> <li>(3) 多次元データ分析               <ul style="list-style-type: none"> <li>エクセルを用いた生産効率の分析とボトルネックの発見</li> </ul> </li> </ul> 2. 残業時間の要因分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 残業要因の抽出とデータ収集               <ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働を発生させる要因の想定と調査票作成</li> </ul> </li> <li>(2) 回帰分析で重要な要因を明らかにする               <ul style="list-style-type: none"> <li>残業時間と各要因の相関分析、残業を削減させる課題の抽出</li> </ul> </li> </ul> 3. 在庫管理と効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ABC 分析による重要製品の絞り込み               <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷実績データから A ランク商品を絞り込み</li> </ul> </li> <li>(2) 在庫回転率の分析               <ul style="list-style-type: none"> <li>在庫回転率の計算、効率性の悪い製品を洗い出し</li> </ul> </li> <li>(3) 出荷予測と適正在庫               <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷予測による適正な発注点と発注ロットの算定</li> </ul> </li> </ul> 4. 原価計算と利益計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 直接原価計算               <ul style="list-style-type: none"> <li>直接コストと間接コスト、利益算定式</li> </ul> </li> <li>(2) 損益分岐点分析               <ul style="list-style-type: none"> <li>損益分岐点と許容原価の算定</li> </ul> </li> </ul>			
前提知識	Microsoft Excel の操作 (関数入力、ピボットテーブル、グラフ作成) ができること			
開催日時	平成 31 年 2 月 21 日 (木)	午前 9 時 30 分～ 午後 5 時 30 分		
使用ソフト	Microsoft Excel	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア	
申込締切	平成 31 年 2 月 4 日 (月)	募集人数	10 名	受講料 9,000 円

SOLIDWORKS 応用		3DCAD			
学習目標	3次元 CAD ソフトである SOLIDWORKS を使用して、基本操作を踏まえた上でのより実践的な操作を習得します。 SOLIDWORKS の操作経験をお持ちの方向けに、さらに SOLIDWORKS の活用するため、実習を通じて学習します。				
学習内容	1. サーフェイス形状の作成 2. アセンブリの変更・活用等				
前提知識	・「SOLIDWORKS 基礎編」を受講済み、または同等の操作経験をお持ちの方				
開催日時	平成 31 年 2 月 25 日 (月) ~ 26 日 (火)		午前 10 時 ~ 午後 5 時		
使用ソフト	SOLIDWORKS 2017	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア		
申込締切	平成 31 年 2 月 6 日 (水)	募集人数	6 名	受講料	61,000 円

Fusion360 デジタルものづくり中級編 ~ものづくりマスターを目指して~		3DCAD			
学習目標	設計変更に柔軟な形状をつくれるようなモデリング手法を習得します。 複雑な機械の機構を表現し検証するためのアセンブリ手法を習得します。 デジタルものづくりを支援する機能を習得します。				
学習内容	1. Advanced Modeling 1) 押し出し、回転以外の作成方法 2) 構築平面の利用方法と操作 3) スケッチの応用 (寸法拘束、ジオメトリ拘束) 4) パラメータの操作 5) 図面作成の基本  2. Advanced Assembly 1) さまざまなジョイント方法 (改めて各ジョイントの使い方を解説) 2) ジョイントの原点設定方法 3) 結合や分割の利用方法  3. アニメーション 1) アニメーションの作成方法  4. 解析 1) 静解析の基本  5. デザインの共有 1) 作成した設計の様々な共有方法 (パブリックリンク、プロジェクトの共有、コメントのやり取りなど)				
前提知識	・ Fusion360 の基本操作ができる方 又は Autodesk 社の Web チュートリアル「Fusion360 基本操作 ( <a href="https://www.autodesk.co.jp/products/fusion-360/learn-training-tutorials">https://www.autodesk.co.jp/products/fusion-360/learn-training-tutorials</a> )」受講済みの方				
開催日時	平成 31 年 3 月 27 日 (水)		午前 10 時 ~ 午後 5 時		
使用ソフト	Fusion360	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア		
申込締切	平成 31 年 3 月 8 日 (金)	募集人数	8 名	受講料	13,000 円
特記事項	受講前に、AutoDesk ID の取得が必要です。 Fusion360 を導入可能な Windows ノート PC 又は 導入済 PC をお持ちいただける方は持参ください。				



# システム開発

Linux システム管理		システム開発	
学習目標	Linux システムの管理を行うスーパーユーザ (root) に必要な基礎知識を習得します。ユーザ/グループ管理、サービス制御、ファイルシステムの管理といった管理者に必要な知識と技術を、実際にコマンド操作や動作確認を行う実習形式で学習します。		
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パッケージ管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージ管理システム</li> <li>・RPMパッケージの管理</li> </ul> </li> <li>2. サービス制御 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの概要</li> <li>・サービス制御</li> </ul> </li> <li>3. ユーザ管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザアカウントの管理</li> <li>・グループアカウントの管理</li> </ul> </li> <li>4. ファイルシステム管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルシステムの利用</li> <li>・ファイルシステムの追加</li> <li>・ファイルシステムの検査</li> </ul> </li> <li>5. バックアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックアップの種類とリストア手順</li> <li>・ファイルシステム単位のバックアップとリストア</li> </ul> </li> </ol>		
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Linux の基本知識がある方</li> <li>・Linux 基本操作 (基本コマンド、vi エディタを含む) が可能な方</li> </ul>		
開催日時	平成 31 年 2 月 7 日 (木) ~ 8 日 (金)	午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 30 分	
使用ソフト	CentOS, Windows	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア
申込締切	平成 31 年 1 月 29 日 (火)	募集人数	10 名
特記事項	研修では、仮想環境で実施します。		
		受講料	24,000 円

フレームワークを利用したPHP開発 ~Laravel~		システム開発	
学習目標	PHP を使った Web サイト構築を、Laravel フレームワークで開発する方法を習得します。		
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Laravel の概要</li> <li>2. Laravel のインストール</li> <li>3. Laravel の構造</li> <li>4. データベースに接続する</li> <li>5. マイグレーションを使ってデータベースを構築する</li> <li>6. クエリビルダを使ってデータの操作をする</li> <li>7. Eloquent ORM モデルを使う</li> <li>8. 認証を作る</li> <li>9. キャッシュを操作する</li> <li>10. ログを取る</li> <li>11. イベントを扱う</li> <li>12. メールを送信する</li> <li>13. ページネーションを利用する</li> <li>14. セッションの管理</li> <li>15. Laravel を使ったアプリケーション構築実習</li> </ol>		
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows の基本操作ができること</li> <li>・プログラミングの基礎知識があること、および Web アプリケーションの基礎知識があること</li> </ul>		
開催日時	平成 31 年 3 月 14 日 (木) ~ 15 日 (金)	午前 10 時 ~ 午後 5 時	
使用ソフト	テキストエディタ Laravel	開催場所	ドリームコア 1F ネクストコア
申込締切	平成 31 年 2 月 26 日 (火)	募集人数	10 名
		受講料	26,000 円

# IoT・IT 研修（実践編）

IoT・IT 研修（実践編）は、岐阜県内企業（複数の企業から構成されるグループも含む）や団体からのご要望により、開催日や開催場所を決めて開催する研修です。以下のモデルコースの他、研修内容をご要望により調整する他、モデルコース以外の内容についてもご相談により対応します。

開催のご希望やお問い合わせを、研修担当（電話：0584-77-1166）までご連絡ください。

（受講料は、1名分の概算額です。）

## <モデルコース>

<b>研修1</b>	<b>製造現場のためのIoT活用入門 ～表計算ソフトとWiFiバーコードリーダーではじめるIoT～</b>	IoT導入
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoT導入による見える化はなぜ成果が上がるのか。その理由を学習します。</li> <li>生産管理板やグラフ化ツール、IoT機器を実際に操作して習得します。</li> <li>表計算ソフト（LibreOffice Calc：無償）を使ってIoTで実現できる機能を学習します。</li> </ul>	
学習内容	1. 実機によるデモンストレーション 2. IoT導入による見える化に関する基礎知識 1). IoT、見える化がもたらす効果 2). 導入コストで考えないといけないこと 3). インターネットは止まることもある。 3. 環境構築 1). システム構成 2). ソフトウェアのセットアップ 3). Wi-Fiバーコードリーダーのセットアップ 4). バーコードの簡単な作り方 (フォントの設定) 4. 動作確認 1). 表計算ソフトでアニメーショングラフ 2). 表計算ソフトでLive生産管理板 5. カスタマイズ 6. Q&A	
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造ラインの担当の方、または生産管理の経験をお持ちの方</li> <li>表計算ソフト（Excel等）の基本的な操作ができる方</li> </ul>	
日数	1日	定員人数（最小催行） 10名（7名）
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修代金には、自社に持帰って活用頂くIoT機器代金を含みます。</li> <li>WindowsノートPC（LibreOffice Calcを導入可能）をご持参ください。</li> </ul>	
<b>研修2</b>	<b>ソフトウェア技術者のためのIoT機器開発基礎 ～WiFiマイコンで作る Hello, Internet of things.～</b>	IoT導入
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>安価で実績の豊富なIoT機器でhttpプロトコルを用いた情報の受け渡し方法を習得します。</li> <li>ソフトウェア技術者がIoTに必要な電子回路の基礎知識を習得します。</li> <li>表計算ソフト（LibreOffice Calc：無償）とセンサとのデータ連携方法を習得します。</li> </ul>	
学習内容	1. 基礎知識 1). ESP-WROOM-02、Arduinoを使う理由 2). 事例紹介 2. 環境準備 1). Arduino IDE、Visual Studio Express 2). シリアルポート設定 3. 基本動作 1). 電子回路基礎知識 2). 壊さないための注意点 3). LED点灯 4). 検知、ボタン検知、温度センサ 5). インターフェイス基礎知識 4. WiFi活用 1). httpクライアントでセンサの値を送信する。 2). httpdサーバでセンサの値を提供する。 3). 表計算ソフトと連携する。 5. 更に発展させるには？ 6. Q&A	
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>C言語のプログラミング（if、for程度）の知識をお持ちの方</li> <li>表計算ソフトの関数（vlookupやif程度）の知識をお持ちの方</li> </ul>	
日数	1日	定員人数（最小催行） 10名（7名）
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修代金には、自社に持帰って活用頂くIoT機器代金を含みます。</li> <li>WindowsノートPC（LibreOffice Calcを導入可能 且つ 20GB程度の空きスペースがある）をご持参ください。</li> </ul>	
<b>研修3</b>	<b>生産性向上のための課題と負荷平準化 ～生産管理 納期改善～</b>	生産計画
学習目標	生産スケジュールを活用した生産性最大化や納期遵守の改善方法を学習します。	
学習内容	1. 生産スケジューリングの紹介 2. 生産スケジューラ体験 1). スケジュール作成、調整 2). 作業指示書作成 3). 作業実績反映 4). 特急オーダー登録 5). 生産状況確認 3. Q&A	
日数	半日	定員人数（最小催行） 10名（7名）
備考	WindowsノートPC（生産スケジューラ体験版を導入可能）をご持参ください。	
<b>研修4</b>	<b>生産管理システム体験</b>	生産管理
学習目標	生産管理システムを体験し効率的な運用を学習します。	
学習内容	1. 概要 2. 基本機能 1). 生産管理上の課題と解決方法 2). 効率的な運用 3. 生産管理体験 4. Q&A	
日数	1日	定員人数（最小催行） 10名（7名）
備考		
<b>研修5</b>	<b>3D CADを使った組立・配膳治具の作成 ～生産管理 コスト、品質、納期改善～</b>	改善
学習目標	製造現場の生産性向上に役立つCAD活用事例を学習します。	
学習内容	1. 3Dプリンタで作成する組立治具、配膳治具のご紹介 2. 3D CAD「Fusion 360」基本操作 3. プロトタイプモデリング 4. モデル作成	
日数	1日	定員人数（最小催行） 8名（4名）
備考	WindowsノートPC（Fusion360導入可能）をご持参ください。	

# IoT・IT 研修（実践編）

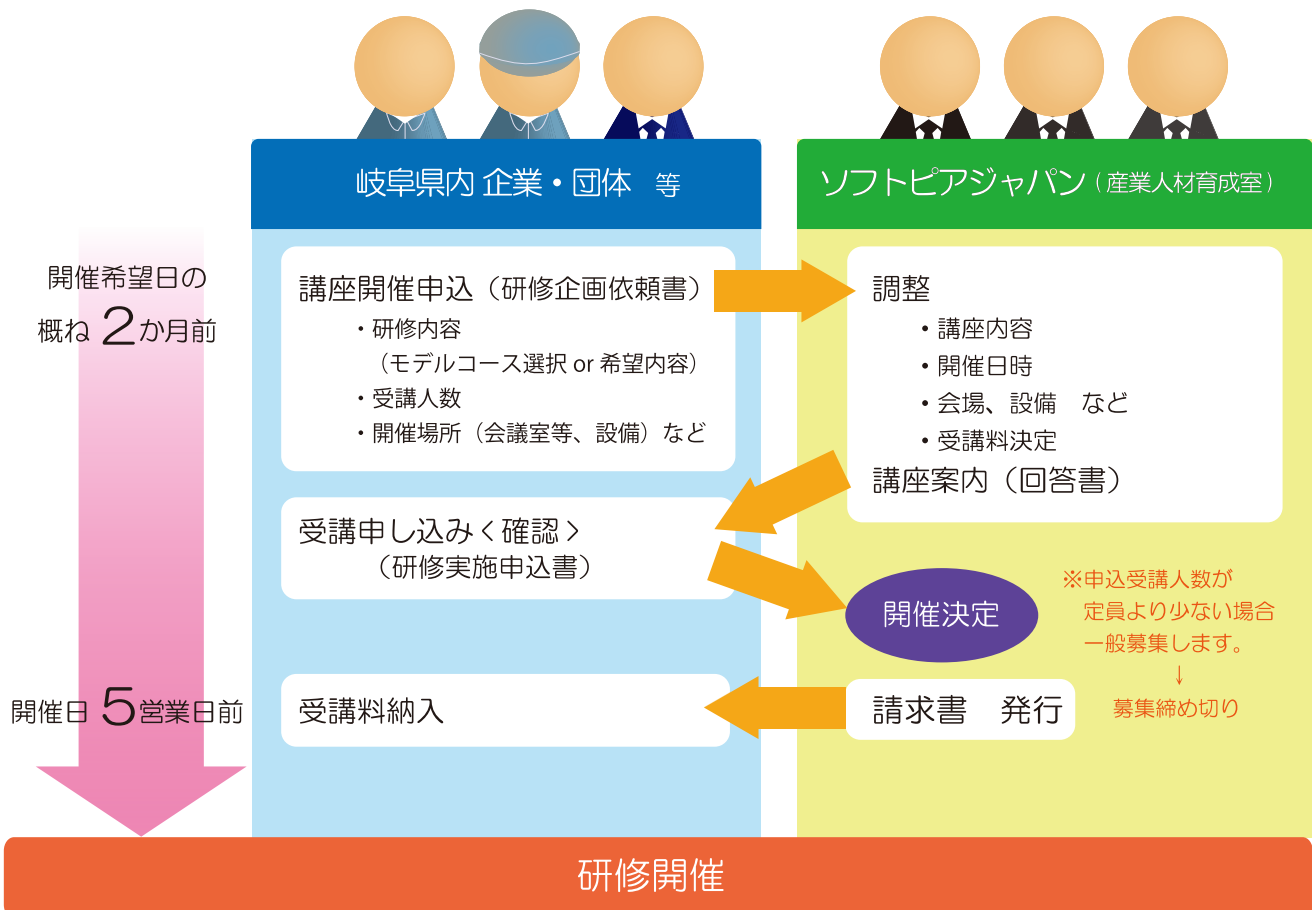
<b>研修6</b> 3D CADを使った新商品のデザイン ～商品開発～		企画・設計・開発			
学習目標	中小企業でもできる効率的なデジタルものづくりの方法・事例について学習します。				
学習内容	1. デジタルものづくりの方法・事例のご紹介 2. 3D CAD「Fusion 360」基本操作 3. プロトタイプモデリング、レンダリング 4. 3Dモデル作成				
日数	1日	定員人数（最小催行）	8名（4名）	受講料	17,000円
備考	・WindowsノートPC（Fusion360導入可能）をご持参ください。				
<b>研修7</b> Excel活用による製造現場のコストダウン ～コストダウンを図る改善マインドと発想法～		改善技法			
学習目標	・コストダウンを図る改善マインドと発想法を学習します。 ・問題点の着眼・発想から解決のための改善技法を習得します。				
学習内容	1. コストダウン技法（WAVE法）の概要 1). 製造現場コストダウン活動の必要性 2). やさしい改善技法WAVE法とは 3). 改善活動の考え方・進め方 4). 今までのマンネリ化した小集団活動を見直し！ 2. 現場で取り組むコストダウン活動の進め方 1). テーマさがしワークシート作成 2). 役割さがしワークシート作成 3). アイデア発想ワークシート作成 4). 改善案ワークシート作成 5). 改善案検証ワークシート作成 6). 提案、実施報告書 3. コストダウン演習				
前提知識	・製造ラインの担当の方、または生産管理の経験をお持ちの方 ・表計算ソフト（Excel等）の基本的な操作ができる方				
日数	1日	定員人数（最小催行）	10名（7名）	受講料	9,000円
備考	・WindowsノートPC（Excel等表計算ソフト導入済み）をご持参ください。				
<b>研修8</b> Excel活用による不良ゼロの進め方 ～生産管理 品質改善～		品質改善			
学習目標	・現場で取り組める不良ゼロの具体策はバラツキ退治。製造品質改善の基礎と具体的な進め方を学習します。				
学習内容	1. ものづくりと製造品質は密接に関係している 1). 製造現場における「品質」とは、「管理」とは 2). 品質に対する考え方は、時代とともに変化している 3). 製造品質を上げれば、コストは下がる 4). 良い製造品質は、現場力で作り込め 2. 製造品質問題に対する意識を変えよう 1). 目先のコスト・業績より品質優先の風土づくり 2). 品質へのこだわりと、あるべき姿への追求 3. バラツキ退治こそ、製品不良に対する攻略法だ 1). なぜ品質不良は減らないのか？ 2). 不良の原因は、バラツキにある 3). バラツキの捉え方、バラツキを減らすための着眼点 4. QCストーリーとQC7つ道具を組み合わせた「バラツキ退治」の実践手順 5. 現場見学 ～不良ゼロへの挑戦～ 6. フィードバック				
前提知識	・製造ラインの担当の方、または生産管理の経験をお持ちの方 ・表計算ソフト（Excel等）の関数入力、グラフ作成の操作ができる方				
日数	1日	定員人数（最小催行）	10名（7名）	受講料	9,000円
備考	・WindowsノートPC（Excel等表計算ソフト導入済み）をご持参ください。 ・受講者企業の工場にて現場見学します。				
<b>研修9</b> 動画を使った目で見える管理、段取り改善 ～生産管理 コスト改善～		コスト改善			
学習目標	・異常、問題点、ムダがひと目でわかる仕組み。すぐに役立つ、効果的な現場管理手法を習得します。				
学習内容	1. 「目で見える管理」はなぜ必要か？ 1). 「目で見える管理」の必要性 2). 「目で見える管理」の定義 3). 「目で見える管理」の着眼点 2. 「目で見える管理」の導入手順 1). 「目で見える管理」の計画段階 2). 「目で見える管理」の実施段階 3). 「目で見える管理」の効果確認段階 4). 「目で見える管理」の是正処理段階 3. 「目で見える管理」の道具立て 1). 現品管理 2). 生産管理 3). 設備管理 4. 現場見学 5. フィードバック				
前提知識	・製造ラインの担当の方、または生産管理の経験をお持ちの方				
日数	1日	定員人数（最小催行）	10名（7名）	受講料	9,000円
備考	・WindowsノートPCをご持参ください。 ・受講者企業の工場にて現場見学します。				
<b>研修10</b> 原価管理 基礎		経営支援			
学習目標	売上依存型経営から利益追求型の経営へ切り替えるための考え方・手法を学習します。				
学習内容	1. 原価の考え方 2. 製造原価をExcelで計算 1). 特定生産ラインの製造原価計算 2). 標準的な指標 3). コスト削減フィードバック 3. 原価管理システム体験 4. Q&A				
前提知識	・製造ラインの担当の方、または生産管理の経験をお持ちの方 ・表計算ソフト（Excel等）の基本的な操作ができる方				
日数	半日	定員人数（最小催行）	10名（7名）	受講料	10,000円
備考	・WindowsノートPC（Excel等表計算ソフト導入済み 且つ 原価管理体験版を導入可能）をご持参ください。				



# 生産活動におけるIoT・IT 研修（実践編）の位置づけ

プロセス	機能		
引き合い			
見本製作	試作管理 <b>研修 1</b>	CAD <b>研修 6</b>	
設計	設計・変更管理	製造基準情報管理 (BOM)	
積算・見積	販売管理	需要予測	
受注	受注管理	EDI	PDM・PLM
生産計画	生産スケジューラ (APS) <b>研修 3</b>	部品在庫	
手配・調達	資材所要量計画 (MRP) <b>研修 4</b>	製番管理	買掛金管理 <b>研修 5</b>
製造	工程管理	CAM	機械・作業のIoT <b>研修 1</b> 作業管理 <b>研修 7</b> <b>研修 2</b>
検査	品質管理 <b>研修 8</b>	トレーサビリティ	データ分析 <b>研修 9</b>
納品	出荷管理	製品在庫	
請求・入金	請求処理	Web 請求	売掛金管理
実績分析	個別原価 <b>研修 10</b>		

## IoT・IT 研修（実践編） 研修実施の流れ





## 受講申込

◆Web サイトより、次の2つから選択いただけます。

- (a) 「この研修を申し込む」をクリックし、Web 上で必要事項を入力のうえ送信ください。
- (b) 申込書（Word 版、PDF 版）をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、締切日までに「e-mail」「FAX」「郵送」「持参」のいずれかでご提出ください。

申込手順・注意事項・キャンセルなど、詳しくは当サイトをご覧ください。

<https://training.softopia.or.jp>



受講申込ページ

## 本講座対象の助成金

### ◆IT スキルアップ支援事業補助金

西美濃3市9町に主たる営業所を有する企業・事業者・  
 団体、住所を有する個人事業主の方は、  
**受講料の1/2以内**を補助します。  
 （複数の受講も可。年間8万円まで）

〔詳細・申込方法〕

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000030273.html>



### ◆ぎふIT・ものづくり協議会 研修助成金

協議会会員の方は、  
**受講者1名につき10,000円**  
 （1講座2名まで 年間延べ3名まで）を  
 補助します。

〔詳細〕

<http://gifu-itmonodukuri.jp/>



## 研修会場

ソフトピアジャパン

ドリーム・コア 1F ネクストコア ※一部 2F 会議室等で実施します。

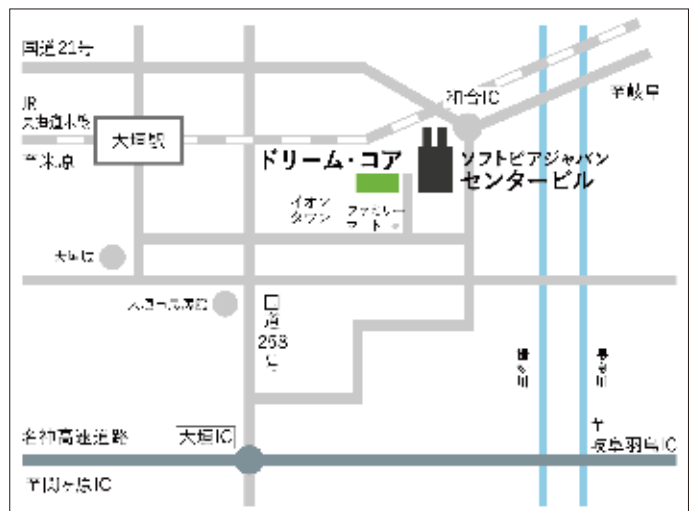
### 【アクセス方法】

#### 〈お車をご利用の場合〉

- 国道21号線 和合 I.C.から 約2分
- 名神高速道路 大垣 I.C.から 約20分
- 岐阜羽島 I.C.から 約25分

#### 〈公共交通機関をご利用の場合〉

- JR東海道本線 岐阜～大垣 約10分  
名古屋～大垣 約30分
- 名阪近鉄バス 大垣駅から約10分～15分  
JR大垣駅南口3番乗り場  
ソフトピア線・羽島線  
「ソフトピアジャパン」下車



## お問い合わせ・お申し込み

公益財団法人ソフトピアジャパン 産業人材育成室 研修担当  
 〒503-8569 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地7  
 電話番号：0584-77-1166 FAX：0584-77-1105  
 受付時間：9：00～17：00（土・日・祝祭日を除く）  
 e-mail：training@softopia.or.jp

岐阜 IoT・IT 研修

検索